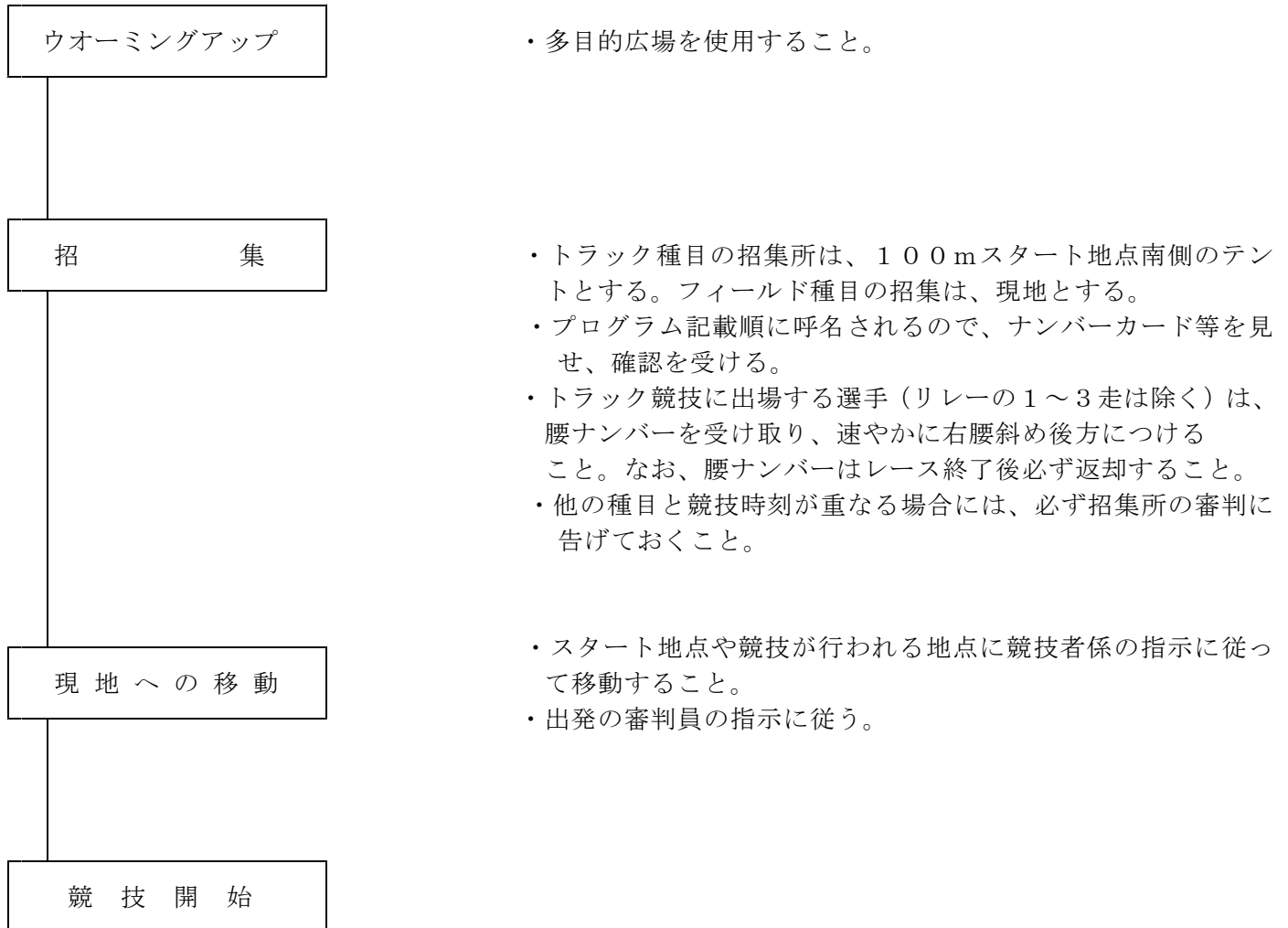


競 技 注 意 事 項

1. 競 技 方 法
 2. ナンバーカード
 3. 招 集
 4. 練 習 場
 5. 使 用 器 具
 6. トラック競技
 7. フィールド競技
 8. ユニフォーム
 9. バーの上げ方
 10. ス パ イ ク
 11. 表 彰
 12. そ の 他
- 2016年日本陸上競技連盟競技規則による。
- 個人ナンバーカード（2015年男女赤字）を胸背部につける。ただし、跳躍競技は、胸背いずれかでよい。トラック競技に出場する選手（リレーの1～3走者を除く）は全員腰ナンバー（大会本部で用意する）を右腰後方に付ける。
- 1年生は、腰ナンバーのみを着用する。（大会本部で割り当てたナンバーを付ける必要はありません。）
- 競技者は招集時刻の10分前までに、トラック種目は『招集所』に集合し、フィールド種目は『現地』に集合し、点呼を受ける。
- トラック競技は競技時刻の20分前、フィールド競技は30分前とする。
- 代理人は認めない。
- 招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- 四種競技の第一種目の招集については、他の種目と同じ手順で招集を行うが、第二種目以降の招集については現地において招集時刻の5分前に行う。
- 招集所は、100mスタート地点南側に設置されたテントとする。
- リレーの走順は、午前中に役員室にいる記録係に申告する。招集時刻1時間前まで変更可能とする。
- ウォーミングアップ場は多目的広場のみとする。
- 器具は本部で用意したものを使用すること。バトンも本部で用意したものを使用し、レース後ただちに係員に返すこと。
- タイムレースとし決勝は行わない。同組、別組とも同記録は同順位とする。
- 短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- 男子3000mは、グループスタートとする。（出発係の指示を受ける）
- 走幅跳、砲丸投は、3回の試技でトップ8を決定し、さらに3回の試技を行う。
- リレー競技に出場の場合、ランシャツ（ベスト）は同一ユニフォームとする。
- 男子走高跳 140 145 150 155 160 ……
- 女子走高跳 120 125 130 135 140 ……
- 男子四種走高跳 120 125 130 135 140 ……
- 女子四種走高跳 105 110 115 120 125 ……
- トラック種目・走幅跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。
- 種目別の表彰は行わない。
- 当日の選手の変更は一切認めない。
- 競技する選手以外はトラック、フィールド内に立ち入ることはできない。
- 空き缶・ゴミ等は各校・各自で責任をもって処理する。
- 置き引きには各校注意すること。
- 「テント」はスタンドの上段に設営すること。「のぼり」はメインスタンドの最上段の手すりのみ設置可。「応援横幕」は競技の支障にならないように設置すること。
- メインスタンドでの集団応援は禁止する。
- 中学生は携帯電話を競技技場内では原則として使用しないこと。
- トランシーバーを使用する場合には、本部で使用する7・8・9・10チャンネルの使用を禁止する。

選 手 注 意 事 項

選手は以下の流れに従って動き、失格にならないように気を付けて下さい。なお、リレーに出場する選手は下の注意事項も守って下さい。



- | | | |
|------|----------|--|
| 注意 1 | 四種競技について | 一種目目の招集の手順は、他の種目と同様、上記の通り行う。
二種目目以降の招集は、現地にて混成競技係員が行う。
最終種目のトラック競技においては、混成競技係員より腰ナンバーを受け取り、速やかに右腰斜め後方につけること。 |
| 注意 2 | リレーについて | 招集は4人そろって他の種目と同様、上記の通り行う。
なお、オーダーは午前中に役員室の記録係に申告すること。
招集時刻の1時間前までは変更可能とする。 |